

小学校との交流学習が 脈々と続いています

特別支援学校と小学校との交流は昭和55年度から継続されており、合同運動会では、交流した学年の児童だけでなく、以前交流した上級生の児童生徒からの「〇〇さん、がんばれ！」という応援の言葉や「元気だった？去年より大きくなったね」という温かい声かけが交わされています。

また、保護者の方からも「自然な交流がされていてほのぼのとします」などの感想が寄せられています。

本校の児童や小中学校の児童生徒たちが社会に出て、様々な人と出会ったとき、穏やかな気持ちで共に生きることができると嬉しいと思います。



特別支援学校の友だちとなかよくなるには…

1 事前学習

小学部主事が小学校に出向き、特別支援学校の子どもたちの生活等について説明する場をもちました。質問タイムでは具体的な疑問がたくさん出て、「なかよくなりたいたい！」という気持ちが伝わってきました。

2 「なかよしカード」と「ビデオレター」の交換

お互いを理解し合うために、自己紹介の「なかよしカード」とメッセージ入りの「ビデオレター」を作成し、交換しました。

交換し、事前に見合うことによって「グループの友だちは誰だろう」「好きなことが同じだ」「早く遊びたいな」という期待感をもって臨むことができました。



小学校の友だちからビデオレターが届いたよ！
ぼくのグループの友だちはだれ？

3 交流学習当日

①対面式

②全体活動

「みんなでうたおう」

「あいさつ」

「なかよしゲーム」(玉入れ, サーキット)

「みんなでおどろう」

③グループ活動

グループ活動では、小学校の友だちと一緒に絵カードを選んだり、「〇〇しよう」と誘い合ったりして、バドミントン、サッカー、ブランコ、自転車、絵、パソコン等の活動をし、楽しい一時を過ごすことができました。



歌のお兄さんに合わせて、「肩と肩と肩と…」
楽しいコミュニケーション



赤、白、青、3チームに分かれて、「なかよし玉入れ」楽しいゲーム



運動会でも恒例の、輪になって踊る「みんなで踊ろう」楽しいダンス

これからも、お互いを理解し合える交流が続いていき、同じ社会の中で一緒に生きていくことができると願ってやみません。